

研究へのご協力のお願い

研究課題名「口腔内写真による個人識別技術に関する研究」

東京歯科大学 口腔インプラント学講座

研究責任者：非常勤講師・久保 浩太郎

この度、東京歯科大学水道橋病院において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、2025年8月6日(水)までに、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

この期限以降、データは匿名加工されますので、個別のデータ削除等に対応することができません。ご了承ください。

1. 研究目的と意義

救急搬送や災害が起きたとき、患者様や被災者の身元をすぐに確認することはとても重要です。

これまでは、身分証明書や本人の申告、生体情報（顔・指紋・目の虹彩など）を使って確認されてきました。しかし、意識がない人や持ち物を持っていない人では、こうした方法では身元を確認できないことがあります。

DNA 鑑定は正確ですが、結果が出るまでに時間がかかるため、緊急の場面では使いづらいこともあります。

また、顔や指紋などの情報は、事故や環境の影響で損傷することがあり、うまく使えない場合もあります。

その点、歯は硬くて壊れにくく、長期間保存されやすいという特徴があります。

また、電子カルテに残された歯の治療記録を使った身元確認も広く行われています。

ただし、診療所とは異なる災害現場などでは、これまでの方法だけでは確認が難しいこともあります。

そのため、より効率よく身元確認を行うための新しい技術が必要とされています。

本研究では、お口の中の写真（口腔内写真）を使って本人を特定できる技術を開発します。

そしてそれを、パソコンやスマートフォンなどの端末で使えるようにすることで、現場での確認作業を助けることを目指しています。

本研究は、山梨大学との共同研究として実施します。

2. 研究方法

＜この研究にご協力いただく方＞

この研究にご協力いただく患者様は、東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科を受診され、2020年4月1日から2025年3月31日までに診療の一貫として口腔内写真を撮影された方で、以下の条件をす

べて満たされた方です。

この研究に参加するには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

【研究にご協力いただく方の条件】

- 1) 初診時(術前)と治療後の異なる時点でのデータがある方
- 2) 本人を見分けるための目印になる歯が複数残っている方

【研究にご協力いただけない方の条件】

- 1) 歯が全て失われており、本人確認に必要な歯の情報が得られない方
- 2) 写真の写りが悪い、または壊れていて使えない方
- 3) この研究の目的である「本人確認」を行う上で有効性が低いと判断された方

本研究では200～500名の方にご協力をお願いする予定です。

＜この研究の実施内容・方法＞

この研究では、まず、お口の中の写真（口腔内写真）を収集しデータセットを作ります。

山梨大学では、新たにご協力いただける方からお口の写真を撮影して集めます。

東京歯科大学では、東京歯科大学（水道橋病院 口腔インプラント科）で、診療の一環として撮影された口腔内写真データを、山梨大学に研究目的で提供します。

これらのデータを用いて、人工知能技術(以下、AI 技術)による本人識別の技術を開発し、最終的に開発した技術が正しく使えるかを確認する実験（評価）を行います。

＜ご協力いただく事項＞

本研究では、これまでの診療で撮影したお口の中の写真（口腔内写真）を使用します。新たにご協力いただくことはございません。

研究では、氏名・住所などの個人を直接特定できる情報は使わず、匿名化された形で写真データを取り扱います。

＜研究期間＞

本研究の研究期間は、2025年7月30日～2029年9月30日です。

＜研究の実施体制＞

○この研究を実施する共同研究機関

1	研究機関名 山梨大学大学院	研究代表者			
		所 属	総合研究部工学域	職 位	教授
		氏 名	茅 暁陽	役 割	研究代表者

3. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究では、診療の際に撮影されたお口の中の写真を使用するため、新たな負担やリスクはありません。本研究にご協力いただいても、直接的な利益が生じるわけではありませんが、将来的に、災害や救急時などにおける本人確認の精度向上に役立つ可能性があります。

4. 個人情報等の取扱い

東京歯科大学では、診療の中で撮影されたお口の中の写真を個人が特定できないように匿名化したうえで、安全のために暗号化してから、山梨大学にあるサーバに送ります。

山梨大学では、データを受け取った後、インターネットに接続できない専用のコンピューターにデータを移し、暗号を解除して使用できるようにします。

その後、匿名化済みの写真と対応する「研究用の番号」を管理し、本人確認の AI 技術を開発するためのサーバへ写真データをコピーします。

このコンピューターは山梨大学の研究部内にあり、インターネットに接続できない設定となっています。部屋には限られた研究者だけが入れるように管理されており、第三者が勝手に入ることはできません。

また、写真データは、個人が特定できないように加工された状態（匿名加工情報）で取り扱われるため、もとの情報に戻すことはできません。

< 試料・情報の保管方法とその期間 >

研究責任者は、研究が終了した後も、研究に関するデータや記録を、研究が中止または終了してから少なくとも 5 年間、または研究結果が発表されてから 3 年が経過するまでのいずれか遅い時期まで適切に保存します。研究にご協力いただいたデータは、山梨大学大学院総合研究部内にある、インターネットに接続できない専用のコンピューターに保存されます。

< 試料・情報の廃棄方法とその期間 >

本研究が終了した後、この研究で得られた情報が他の研究に使われることはありません。

また、保存期間が終了したあとは、すべてのデータを個人が特定できないように処理したうえで、速やかに廃棄します。

紙の資料は裁断処理（シュレッダー）を行い、電子データは完全に削除して、元に戻せないように処理（完全削除ソフトの使用など）を行います。

5. 研究に関する情報公開の方法

< 研究計画書の開示 >

この研究に関して、研究の内容や方法について詳しく知りたい場合は、他の協力者の個人情報や、研究の独自性・新規性が損なわれない範囲で、研究計画書や方法に関する資料をご覧いただくことができます。

資料の閲覧を希望される方は、研究責任者までお申し出ください。

< 研究成果の公表 >

この研究の最終的な結果は、学会や学術雑誌などで公表される予定です。

公表にあたっては、研究にご参加いただいた方々の情報を統計的にまとめて報告し、個人が特定されることはありません。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 費用等に関すること

本研究により、患者様に新たな費用をご負担いただくことはございません。謝礼のお支払いはございません。

8. 利益相反について

本研究は、山梨大学の教育研究経費を用いて実施されています。特定の企業からの資金提供は受けておりません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学 口腔インプラント学講座

研究責任者 久保浩太郎

試料・情報管理責任者 佐々木 穂高

連絡先 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目9-18

Tel: 03-3262-3421(大学代表)